



しろね図書館だより

祝☆ No.200

～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
2017年1月発行



くらしのなかに図書館を



😊 明けまして
おめでとうございます 😊

新しい年が皆様にとって希望に輝くよい年になりますよう、お祈りいたします。

白根図書館も開館から16年経過し、「しろね図書館だより」も今回で200号を迎えることができました。

第1号は平成12年6月発行で、初代館長の栗村さんが待望の図書館開館に至る感謝の想いと職員の意気込み、図書館の紹介など行いましたが、以後毎月「たより」を発行することができました。

「たより」の発行も含め、これまで皆様から喜んでいただける図書館づくりと各種イベントを行うにあたり、ボランティアさんを始め、多くの方々からの御支援をいただいた賜物と感謝しております。

今後も、明るくゆったりとしたソファなど備えた白根図書館でくつろぎのひとときをお過ごしください。

本年も、白根図書館をご利用くださいますようお願いいたします。

平成29年1月 新潟市立白根図書館・月潟図書館 館長 大平市平

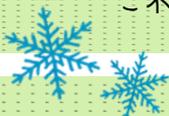


蔵書点検による休館と 3週間貸出のお知らせ

蔵書点検にともない、白根図書館は下記の通り休館します。

休館日	平成29年1月18日(水)～25日(水)
3週間貸出期間	平成29年1月5日(木)～17日(火)

ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



絵本講座を開催します!

講師：野上千恵子さん
(新潟子どもの本を読む会 代表)

演題：「子どもたちと楽しむ絵本の世界
～子どもたちと本をつなぐ～」

子どもたちと本でつながる～

申込み：2月8日(水) 午前10時～
白根図書館窓口、電話 (372-5510)、
FAX (372-5540) で受付開始

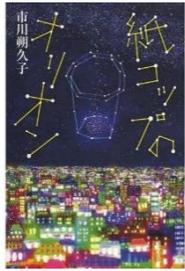
日時：平成29年3月5日(日) 午後1時30分～3時30分

会場：白根学習館2階 ルーム1

対象：読み聞かせ等のボランティアで活動をされている方、
読み聞かせに興味がある方 (定員40人・先着順)



図書館員がおすすめする
この1冊



市川朔久子／著
講談社

紙コップのオリオン

中学2年生の橘論里は、母親と、血のつながらない父親と、妹と4人で暮らしていましたが、ある日突然、母親が書き置きを残していなくなりました。趣味のカメラを持って、撮影旅行に出かけてしまったのです。そんな中、学校では開校20周年の記念行事を実施することになり、論里は実行委員をやることになりました。12月の終業式の夜、キャンドルの灯りで校庭に星座を描くことが決まり、仲間たちと準備をすすめる論里ですが、冬の星座に思いをはせながら、自分をとりまく人たちのことを考えはじめます…。

この作品は、人と人とのつながりがテーマになっています。ティーンズの皆さんにおすすめの、心があたたかくなる1冊です。(小林)

子どもたちといっしょに

親子で楽しめるえほん



マーガレット・ワイズ・ブラウン／作、
チャールズ・G・ショー／絵、
よしがみ きょうた／訳
小峰書店

きこえるきこえるふゆのおと

この絵本の主人公、こいぬのマフィンには身のまわりの様々な音に気が付きます。たとえばおうちの人が帰ってきた音、鼻をかんでいる音。何の音かわからないときは、近くへ確かめにも行く好奇心旺盛なこいぬです。あるとき、マフィンは聞きなれないしずかでやわらかな音をききました。それは、まさしく“ふゆのおと”でした。

みなさんは“ふゆのおと”と聞いてどんなものを想像しますか。

鮮やかな絵とゆったりとしたおはなしが想像をふくらませます。こいぬのマフィンとともに、まわりの音に耳をかたむけてみませんか。(加藤)

1/5～1/31
今月の展示架

「図書館だより200号記念！」

図書館だよりが200号になるのを記念して、
これまでのたよりで紹介してきた本を展示します。



😊白根図書館 2/2 までの行事😊

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日

1/6(金) 1/13(金)

1/18(水)～1/25(水)*蔵書点検のため休館 1/27(金) 2/1(水)

おはなしかご例会

毎月第2、第4土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

1/14(ルーム4.5) 午前10時～

1/28(ルーム4.5) 午前10時～

おはなしのじかん 毎週土曜日

絵本のよみかたり

午後2時10分～

ストーリーテリング

※おはなしをかたります。

午後2時30分～

☆1/5(木)～1/17(火)は、
貸出期間が3週間になります☆

読書会

(毎月第3日曜日に開催)

1/15(ルーム2) 午後2時～

ブックスタートは 2/2(木) です。

赤ちゃんタイム 毎週土曜日 午前11時～午後2時30分

12月の来館者数…9,635人

12

月の読書会

今月のテーマ

「女性作家を読もう」

12月18日(日)

参加者 6名



◆『くんちゃんのだいらょこう』◆

ドロシー・マリノ／文・絵 石井桃子／訳(岩波書店)

◆『ノンちゃん雲に乗る』◆

石井桃子／著(福音館書店)

小学生に読み聞かせたら、子どもたちが物語にどんどんついてきた。くんちゃんが何度も戻ってくるのを予想しながら聞いていた。7冊あるシリーズの中の1冊だが、これだけが石井桃子の訳。ドロシー・マリノと石井桃子はほぼ同じ時代を生きた二人。

◆『私の遺言』◆

佐藤愛子／著(新潮社)

遺言は身内にだけ残せばよいものだが、公開せずにはいられなかったということで書いたもの。宿命を負わされた者として自分をとらえている。この本を読んだから『血脈』を読むとわかりやすいのでは。心霊体験についても書かれており、興味深い。

◆『アンネ・フランクの記憶』◆

小川洋子／著(角川書店)

小さい時に『アンネの日記』を読んで強い印象をうけた小川洋子が、アンネの生きたドイツ・オランダ・ポーランドを訪ね、その中で感じたことを語っている本。

◆「私の大阪八景」(『田辺聖子全集1』に収録)◆

田辺聖子／著(集英社)

戦時中に女学生だった頃を書いた自伝的小説。暗い時代でも軽快なタッチで描いている。田辺聖子はちょうど昭和を生きた女性といえる。

◆『戦争の法』◆

佐藤亜紀／著(新潮社)

佐藤亜紀は新潟県出身。西洋美術を学んでいたため、ヨーロッパを舞台にした作品が多いが、これは珍しく日本が舞台。新潟県と思われる県が独立する話。

◆「女の友情」(『吉屋信子全集3』に収録)◆

吉屋信子／著(朝日新聞社)

女学校で同級生だった3人のその後の物語。3人のうちの1人が修道院に入ることになる。涙なしでは読めない感動的な話を美しい文体で描いている。大衆を涙させるプロの作品。

◆『わたしの見る日常 runa 編』◆

Runa／文 Mio／写真

◆『わたしの見る日常 runa 編』◆

runa／文 hina／写真

以前読書会に参加されていた方が自費出版した本。白根の読書会から女性作家がうまれた。

◆『風のマジム』◆

原田マハ／著(講談社)

南大東島でラム酒造りをする女性の話。原田マハは現在新潟日報で連載をしている。

他に紹介された資料



『元始、女性は太陽であった』

『はじめてのキャンプ』

『よりぬきサザエさん』



次回の読書会



1月の読書会テーマ

「雪が降っても
心があったまる本」

1月15日(日) 午後2時～

会場 白根学習館ルーム2

申込みはいりません。気軽に本の話を楽しみましょう。

おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。 しろね図書館友の会共催

読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

文化講演会に多数ご参加いただき、
ありがとうございました。

11月27日(日)、ドキュメンタリー映画監督の小林茂さんを講師にお迎えして、文化講演会を開催しました。映画『風の波紋』上映のあと、ユーモアを交えながら貴重な撮影秘話やご自身の体験談などをお話いただき、大変好評のうちに終了となりました。参加者からも様々な質問や意見が飛び出し、熱気あふれる講演会となりました。

クリスマスおはなし大会 報告

12月10日(土)、毎年恒例となった「クリスマスおはなし大会」を開催しました。延べ79人の方にご参加いただき、ありがとうございました。お子さんには、折り紙のクリスマス飾りをプレゼントしました!



講演会当日は、新潟市以外からも多数ご参加いただきました。

味方地区図書館だより

2017年 1月

〒950-1294 新潟市南区味方 1544 (味方出張所内) 電話: 025-373-4788

開室時間: 午前9時~午後9時30分



新年
謹賀

昨年中はご利用いただき、ありがとうございました。本年も味方地区図書館をよろしくお願いたします。

【お願い】味方地区図書館の資料は、新潟市立図書館では返却できません。味方地区図書館へ直接お返しく下さい。

★おすすめ図書のご案内★



『鎌倉時代のサバイバル
(歴史漫画サバイバル
シリーズ)』
イセケヌ/マンガ チーム・ガリレオ/ストーリー
(朝日新聞出版)

鎌倉時代へ歴史遠足に出かけ、タイムトラベル中にみんなとはぐれてしまったエマとケンジ。源氏と平氏の戦いに巻き込まれた2人は、クラスの仲間たちと再会することができるでしょうか。



『去就』 今野敏/著 (新潮社)
続発するストーカー殺傷事件を防ぐべく、大森署にも対策チームが新設された。その矢先に管内で事件が勃発し、竜崎は捜査の過程で上役と対立するが…。『隠蔽捜査』シリーズ最新刊。



『いまさら翼といわれても』
米澤穂信/著 (KADOKAWA)
合唱祭の本番前、ソロパートを任されていた千反田えるは、なぜ行方不明になったのか。<古典部>4人の過去と未来が明らかになる、瑞々しくもビターなミステリ短編集。

月潟図書館だより

2017年 1月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟1417番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060



謹賀新年

昨年中はご利用いただき、
ありがとうございました。
本年もよろしくお願いいたします。



月潟図書館臨時休館のお知らせ

月潟図書館内の空調設備および消防設備の改修工事に伴い、以下の期間は休館いたします。

休館期間 平成29年1月4日(水)～3月1日(水)

① 1月4日(水)より、一部サービスを停止しています。

貸出、予約・リクエスト受付、調査相談、所蔵調査、新聞の閲覧、閲覧室の利用のサービスを停止させていただきます。(電話での受付も停止します。)

※月潟図書館所蔵の資料は貸し出しできません。ただし、休館前に貸出済の月潟図書館所蔵資料に予約が付いていた場合、その資料は返却後に予約者の方へ提供します。

② 返却ポストは利用できます。

図書・雑誌の返却は、月潟図書館の返却ポストまたは他の新潟市立図書館へお返しください。(工事に伴い、月潟図書館返却ポストに入れた資料はすぐに返却処理できない場合があります。)

視聴覚資料の返却は、視聴覚資料取扱館(※1)へお返しください。

(※1 豊栄・中央・生涯学習センター・亀田・新津・白根・坂井輪・西川・岩室・潟東・巻図書館)

③ 予約資料の受取館の変更をお願いします。

休館中は予約資料の受け取りができません。他の図書館での受け取りをお願いします。月潟図書館受け取りで予約を申し込まれていた方へ、予約資料の受取館についてご連絡させていただくことがあります。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。